

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	メロディー		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日 ～ 2025年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61 (回答者数)	47
○従業者評価実施期間	2025年1月20日 ～ 2025年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが活動する場所が十分に確保され、本人にとって過ごしやすい環境で、バリアフリー化の配慮がなされている 安心して過ごすことのできる居場所づくり、環境設定	【楽しい気持ちでメロディーに来所し、楽しかった！という気持ちで帰宅する】を第一目標とし支援を行っている。 安心できる居場所として基盤を築いた上で、楽しみながらステップアップができるよう、個々に合わせた支援を行っている。	ご自宅、学校、その他関係機関との連携を強化し適切に情報を共有することで、子どもたちひとりひとりの特性やとりまく環境などへの理解を深め、安心感や信頼関係の強化を図っていく。
2	日々の活動が工夫され、多様な人との関わりを持つ機会がある プログラムで地域の方々や外部の方との交流を持つ機会がある	外部交流をプログラムに盛り込んでおり、地域の方に講師として来ていただいたり、地域のお店に職場体験に行かせていただいたりとたくさん交流ができています。公園に遊びに行った際などに、地域の子どもたちと一緒に鬼ごっこなど集団遊びを楽しんでいる。	地域の大人との関わりがメインとなっているため、他事業所さんや地域の子どもたちと関わる機会を増やしていきたい。引き続き地域のお店などと積極的に関わりを持ち、子どもたちのコミュニティを広げていきたい。
3	個人情報の取扱いに留意したうえで、日々の様子をホームページに掲載し、活動の様子が分かるように工夫されている 不特定多数に向けたブログだけでなく、年に4回通信(日々の活動の内容や様子がわかるもの)を保護者様に向け配布している	月に1度ブログに掲載しているのとは別に、年四回(春夏秋冬)でメロディー通信を発行している。イベントでの様子や日常での風景を掲載している。 また、活動で使用したワークシートなどは持ち帰ってもらい、保護者の方に内容や様子を感じていただけるよう工夫している。	ブログや通信は頻度や掲載内容に限りがあるため、子どもたちひとりひとりの様子は保護者様にしっかり直接お伝えできるよう、引き続き引き継ぎ(連絡帳、送迎時、連絡など)を強化していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや地域の児童などの交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	左の2点に関しては、「分からない」という回答が多くみられた。実際に行ってはいるが、その内容をしっかり伝えることができておらず、不透明になってしまっていると予想される。	上記にも記載している通り、日々の情報共有や引継ぎを強化し、活動内容や様子をしっかりとお伝えすることで「分からない」という回答を減らすことができるよう努める。
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている。		
3	保護者に対して、面談や育児に関する助言等の家族支援が行われている。また、父母の会の活動の支援や、保護者同士の連携が支援されている。	保護者会の開催はしているが、頻度が少なく参加人数にも限りがある。	個人面談だけでなく、保護者様同士誘い合わせてもらい、座談会のようなグループでの面談なども行い、メロディーが中心となることができるような交流を深めていきたい。